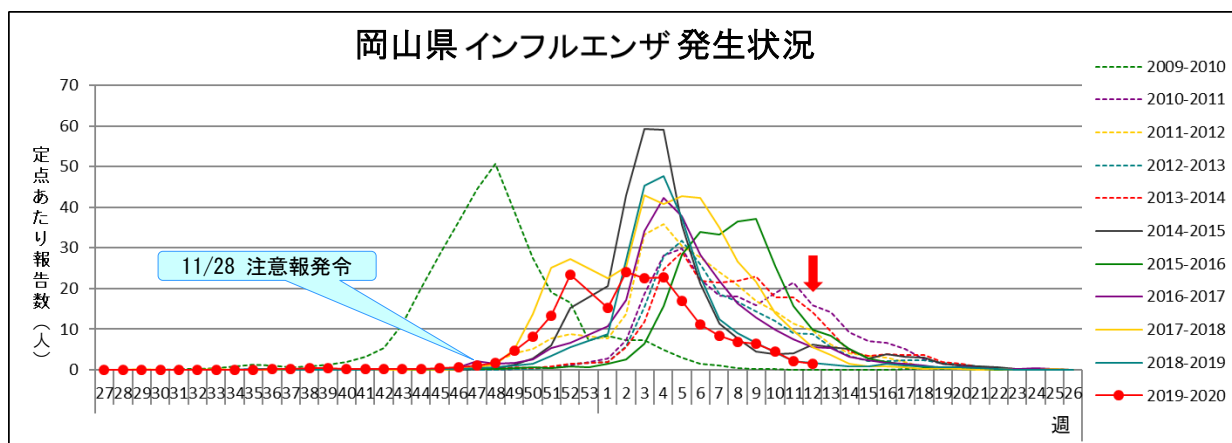


インフルエンザ週報 2020年 第12週 (3月16日～3月22日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で129名（定点あたり1.54人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者はありませんでした。



インフルエンザは、県全体で129名（定点あたり2.24 → 1.54人）の報告があり、前週から減少しました。岡山県は、『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、岡山市（3.36人）、真庭地域（3.00人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。流行のピークは過ぎ、患者数は減少してきていますが、引き続き感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザを防ぐため、ひきつづき感染予防に努めましょう◆

【 予 防 】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- ・ 早めに医療機関を受診しましょう（受診時はマスクを着用してください）。
- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

『咳エチケット』～咳やくしゃみをするときは～

1. 周囲の人からなるべく離れましょう。
2. 他の人から顔をそらせ、ティッシュや手で口などで口と鼻を覆いましょう。
3. 口と鼻を覆った手は、すぐに石鹸で丁寧に洗いましょう。
4. 咳やくしゃみが出ている間は、マスクを着用しましょう。

- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。



1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	129	▲	備 中	患者数	6	▲
	定点あたり	1.54			定点あたり	0.50	
岡山市	患者数	74	▶	備 北	患者数	0	▶
	定点あたり	3.36			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	22	▲	真 庭	患者数	9	▲
	定点あたり	1.38			定点あたり	3.00	
備 前	患者数	5	▲	美 作	患者数	13	▲
	定点あたり	0.33			定点あたり	1.30	

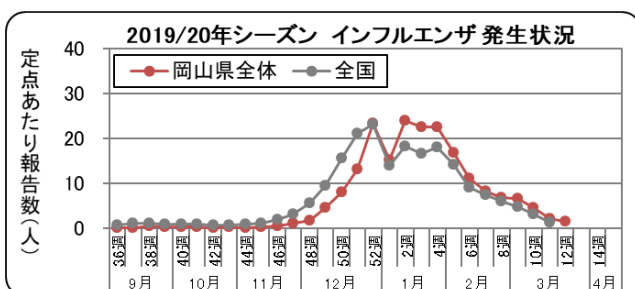
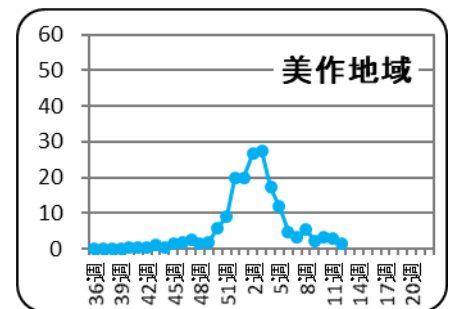
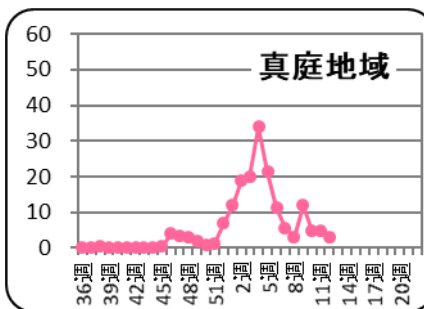
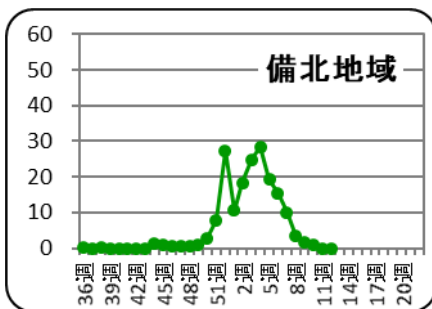
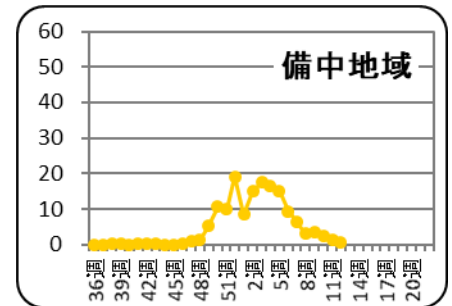
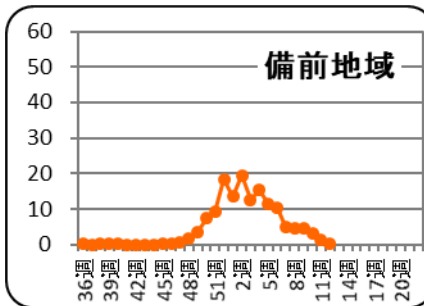
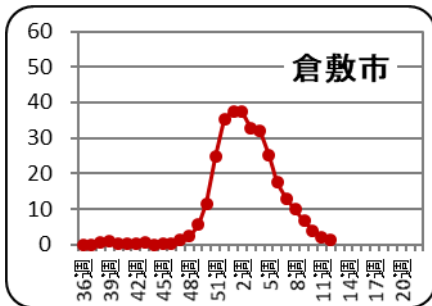
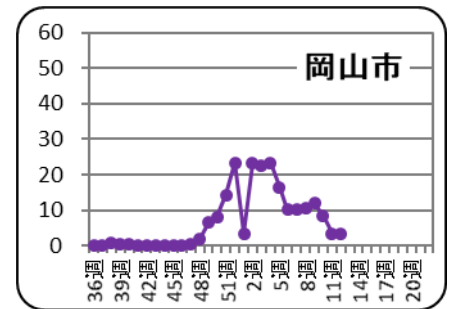
【記号の説明】前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▶：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ↓：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	基準値
0 < 10 未満		0

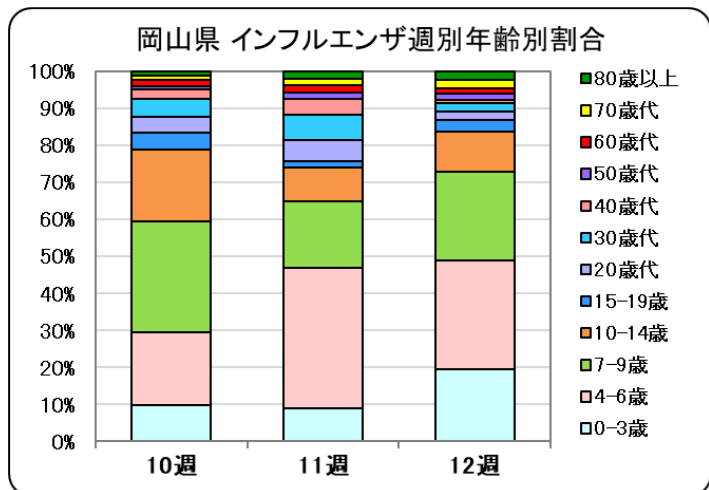
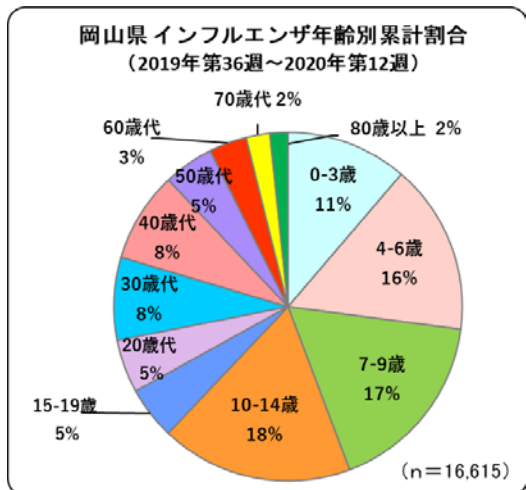


全国集計 2020 年第 11 週（3/9～3/15）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 1.29 人となりました。都道府県別では、岩手県（5.64 人）、石川県（2.90 人）、青森県（2.72 人）、大阪府（2.53 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。46 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

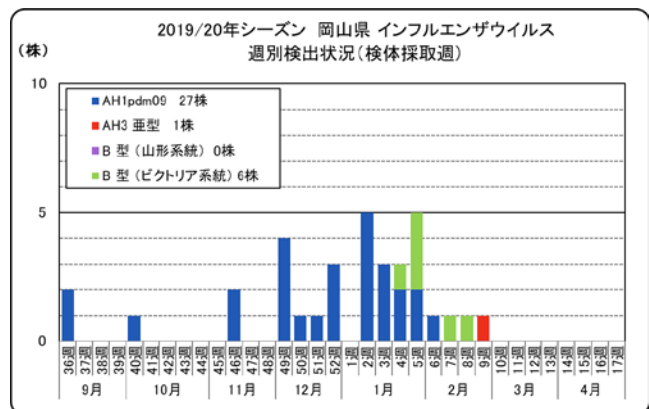
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、以下のとおりとなっています。



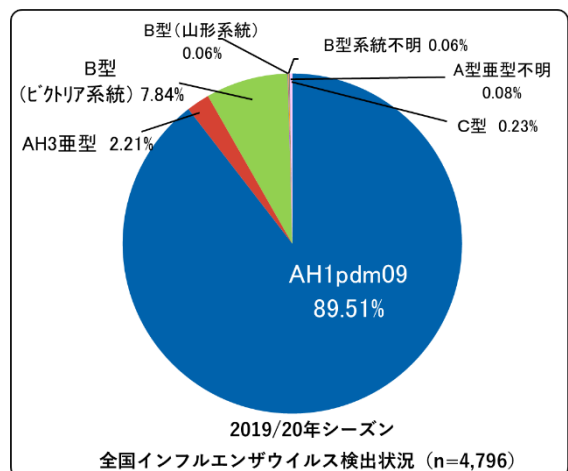
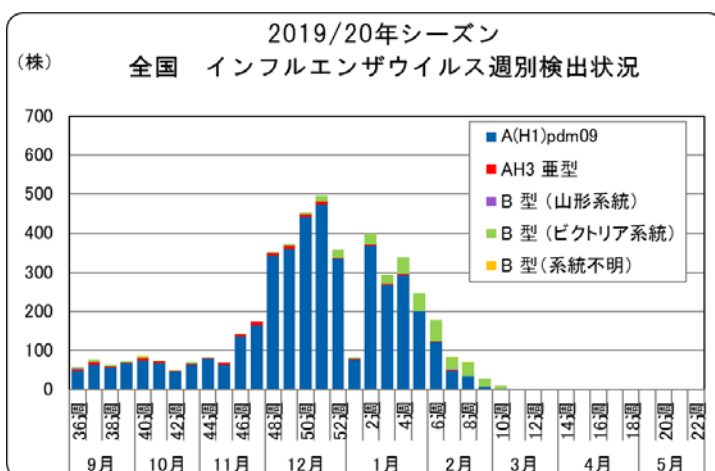
3. インフルエンザウイルス検出状況

2020 年第 12 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 34 株で、その内訳は、AH1pdm09 が 27 株、AH3 亜型が 1 株、B 型（ビクトリア系統）が 6 株となっています。



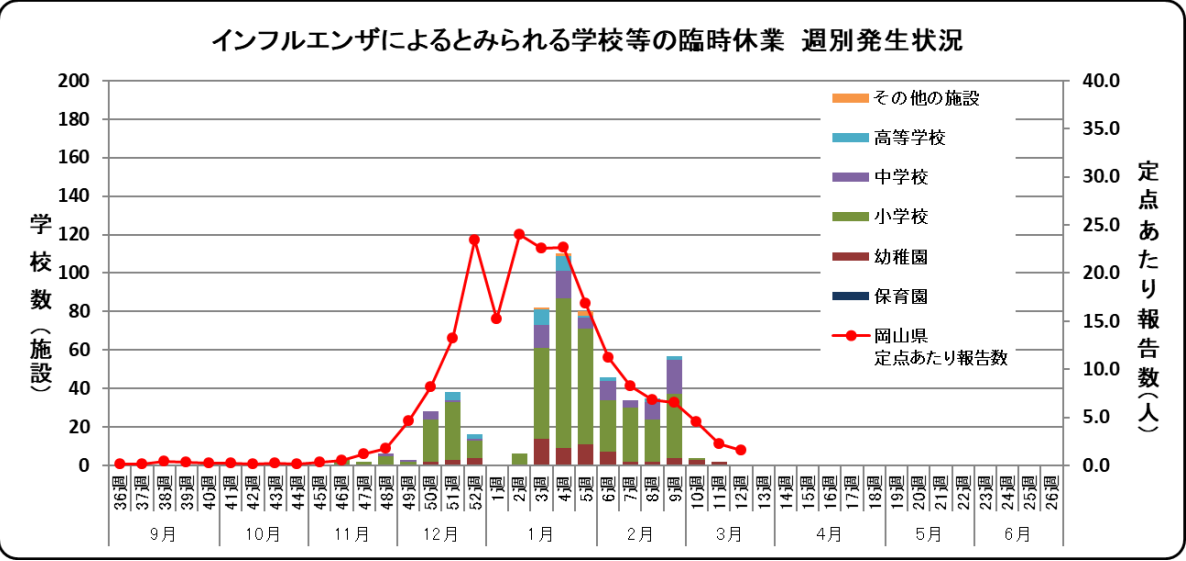
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 4, 293 株、AH3 亜型が 106 株、B 型が 382 株（ビクトリア系統 376 株・山形系統 3 株・系統不明 3 株）、C 型 11 株、A 型亜型不明 4 株となっています（3 月 25 日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 臨時休業施設数の内訳

第 12 週:0 施設 累計:555 施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	—	0	64	0	376	0	82	0	29	0	4

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

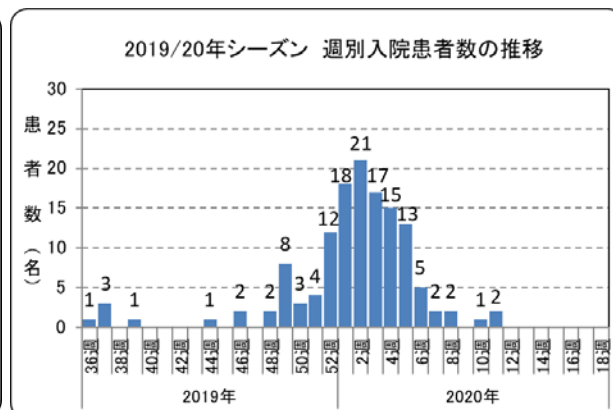
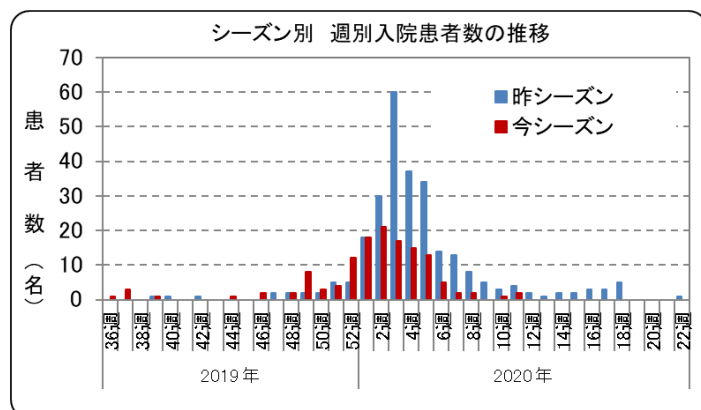
* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名 *	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	8,193	0	6,747	0	555	0	17	0	124	0	414	R1.9.30
岡山市	0	3,944	0	3,239	0	232	0	3	0	29	0	200	R1.9.30
倉敷市	0	1,586	0	1,347	0	115	0	1	0	10	0	104	R1.10.15
備前地域	0	721	0	622	0	63	0	1	0	18	0	44	R1.11.21
備中地域	0	961	0	752	0	72	0	2	0	24	0	46	R1.11.11
備北地域	0	167	0	140	0	16	0	5	0	8	0	3	R1.12.19
真庭地域	0	239	0	184	0	18	0	3	0	14	0	1	R1.11.13
美作地域	0	575	0	463	0	39	0	2	0	21	0	16	R1.10.8

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【2019 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

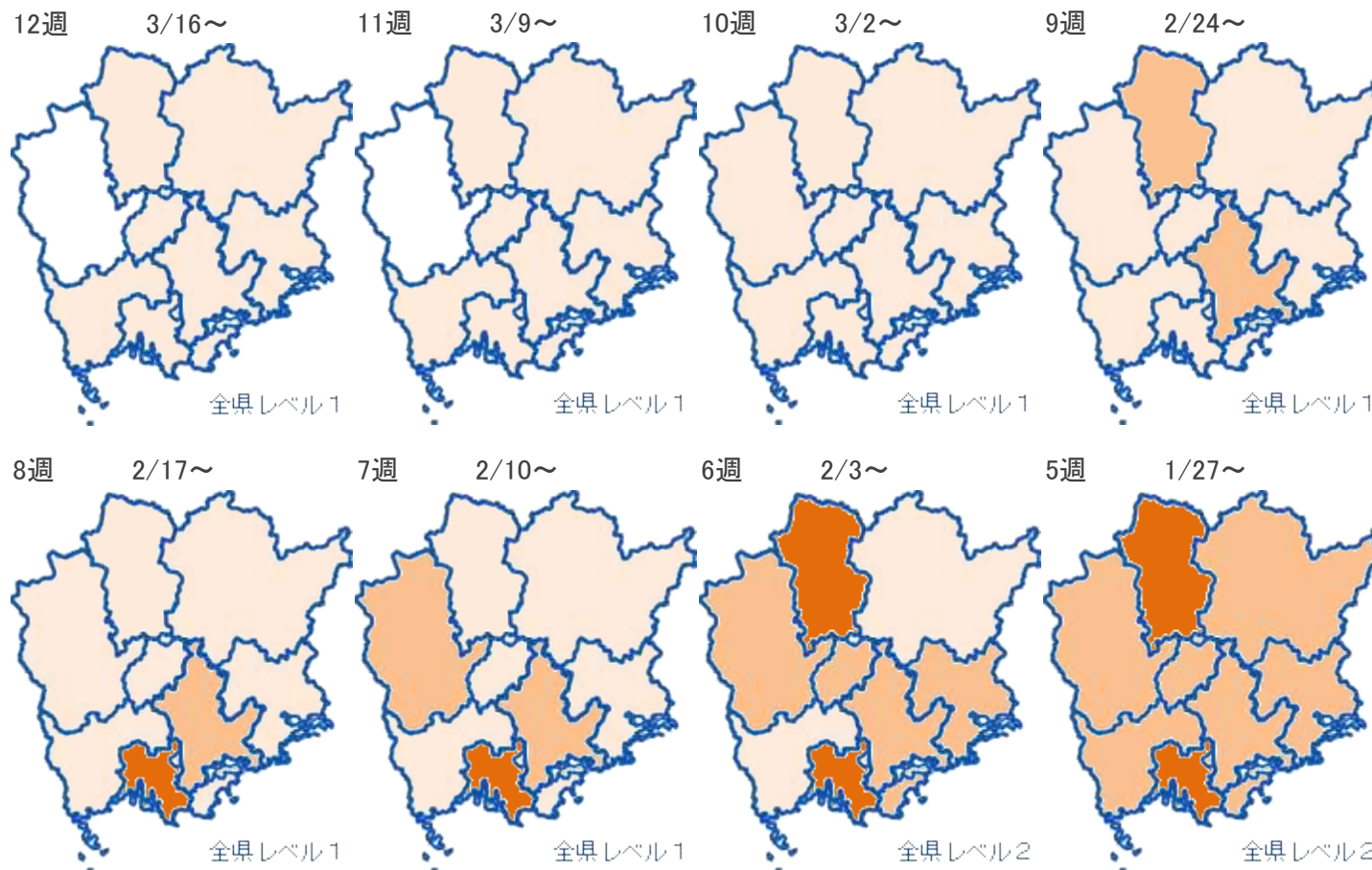
年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	12	19	11	11	2	2	6	1	10	4	28	27	133
ICU 入室 *	2		1				1		3		5		12
人工呼吸器の利用 *	1	3	3						2		4	2	15
頭部 CT 検査(予定含) *	2	3		1	1		4		1		3	1	16
頭部 MRI 検査(予定含) *		4	2	4	1		2			1	3	1	18
脳波検査 (予定含) *				1									1
いずれにも該当せず	8	9	7	7	1	2	2	1	7	3	18	23	88

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)
[令和元年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。